

折り紙250点を展示

ロビーで、梶田教室の作品

グループ〈わ〉総会に合わせ、北区会はふれあいホール(ロビー)で折り紙教室の作品を展示。多くの皆さんが足を止めて、「まあ、きれい」などと、熱心に見ていました。展示作品は約250点。この1年、教室で参加者が制作したもの100点、梶田みどり講師の賛助出品が約150点あり、鶴や亀、花、パンダ、雛人形や五月人形などの色紙、ケース入りの金銀の折鶴など、バラエティにとんだ見ごたえのある力作ばかりでした。展示は2か月前から庄田委員らを中心に準備、教室参加者に出品を呼びかけました。道満区会長は「展示はよかった。時々、やりたい」と乗り気でした。

この日、ロビーでは部会・各サークルがパネル展示や出品、即売を実施。茶道部によるお茶席もあって終日にぎわいました。

一方、カレッジホールでは午後、11グループが合唱や大正琴、銭太鼓、ハワイアン、詩吟などのパフォーマンスを披露。約300人の観客から盛ん



な拍手が送られました。

＝写真はロビーで展示された折り紙250点



折り紙教室の参加増える

【第14回教室】 折り紙講座の14回目は、5月2日にKSC3・4教室で15人が参加して開催されました。課題は端午の節句にちなんだ鯉のぼりの色紙とニッキーちゃんの小物入れ。講師はお馴染みの梶田みどりさん。鯉のぼりは細かな作業が多く、すいすいとは捗りませんでした。先生のサポートでなんとか全員が「完成!」。にこにこ顔でカメラに収まっていた。

【第15回教室】 15回目の折り紙教室は、6月27日午後、KSC5・6教室で12人が参加して開かれました。講師は梶田公子さん。この日の制作は七夕にちなんで牽牛・織姫と花束。色紙が好評なので織姫は色紙に貼り付けました。花は意外にむずかしく時間もか

かりギブアップする人も。折り紙教室は回を追うごとに知られるようになり参加者も増えていますが、この日は12人でした。趣味に、頭の体操に、友人を誘ってぜひ参加してください。次回は7月26日(水)の午後からです。

写真や絵手紙の会など検討

7月27日の運営委員会で道満会長からもっと親睦をの輪を広げ、絆を深めるため、現在の折り紙以外に、写真や書道、絵手紙、囲碁・将棋、農業の会などを立ち上げてははどうか」との提案があり、具体策を検討することになりました。課題は講師と講座のスペース。とりあえず、運営委員からアイデアを募り、可能なものから発足させる予定です。

秋のイベントに参加しませんか

バス旅行は高野山へ

北区会秋のバス旅行は10月24日(水)に高野山へ日帰りで行かれます。費用は6500円。10月の高野山は紅葉が真っ盛り。ガイドの説明付きで高野山めぐりを楽しめます。雨天決行。

コースは、谷上ーしあわせの村(8:00)ー阪神・阪和・京奈和かつらぎ西ICー高野山ー奥の院ー高野町(昼食)ー金剛峯寺・壇上伽藍(見学)ーかつらぎ西ICーしあわせの村ー谷上(18:30)となっています。のじぎく観光の世話で、定員は46人。申し込みは10月10日(水)までに。

問い合わせは道満区会長(090-8237-1402)か、各ブロック連絡員まで。



グラウンドゴルフ大会

北区会主催のグラウンドゴルフ大会は9月19日(水)に決まりました。雨天の場合は10月3日(水)に順延。この催しは、恒例になっており毎回20~30人の参加があります。初心者も歓迎。秋天の1日、グラウンドで汗を流し、アミーゴでランチを楽しみませんか。

問い合わせは土井昭政委員(583-8797)か道満会長(090-8237-1402)まで。

歴史探訪ハイキング

第5回歴史ハイキングは11月11日(日)に産業遺産の湊川隧道などを巡ります。神鉄鈴蘭台駅に集合して烏原貯水池へ。明治期に貯水によって戸数98戸の村が水没。平成10年には産業遺産に指定されています。新湊川ウォークは土木の日(11月18日)にちなんで11日は湊川隧道の通り抜けもできます。

問い合わせは木田委員(981-1072)まで。



里山和楽会が野外学習会

里山和楽会は5月31日、広陵小学校(北区)3年生の子供たち約90人を招いて春の野外学習をかがやきの森一帯で実施しました=写真。スタッフは道満会長ら14人。天気は曇りがちでしたが、朝8

時過ぎ、広陵小校庭に集合して校長先生から学習の目的などのお話を聞き、3グループに分かれスタート。里山の面影が残る山田道を散策したり、樹木や植物を観察したり、カブトムシの幼虫に触れたり。スタッフの説明を聞きながら、約3時間にわたって森に生きる多種多様な植物や昆虫類の勉強をしました。(道満記)

花山梅林会がウメの実販売

花山梅林会(徳原尚代表)は6月16・17・23・24の4日間、花山小の梅林を地域の皆さんに開放、各自が収穫したウメの実を1kg200円で販売しました。今年の出来具合は「まあまあ」ということで、売上金で備品や消耗品、お茶代などの経費を賄うことができました。ただ、当日は花山小にたくさんの車が詰めかけ、学校からクレームがあったので「もっと気軽に多くの人に参加してもらうにはどんな方法があるのか、今後の課題です」と徳原さんは反省しきりでした。